

平成18年度第1回愛媛県男女共同参画会議

日 時：平成18年7月14日（金）14:00～16:00

場 所：愛媛県庁 第二別館 5階 第3会議室

知事あいさつ

皆さんこんにちは。本年度の第1回男女共同参画会議を開催いたしましたところ、大変暑い中、ご多用の中をご参集いただきまして、まことにありがとうございます。

今回、メンバーの入れかえが7名ございまして、新しい委員が約3分の1で、3分の2の委員は昨年に引き続きという形になりますけれども、これからの愛媛の男女共同参画社会へ、未来へ向けての皆様方のさまざまなご提案なり、企画力、そして、それを実際に進めていくエンジンの役割を果たしていただければと願っているわけでございます。

今回の委員構成が、この審議会のメンバー、女性委員15名で71.4%と愛媛県の審議会の中では、一番比率の高い会でございます。今日はちょっと男性委員のご出席が少のうございまして、加藤委員、黒一点として肩身の狭い思いをされますが、いずれかの時代にはもう少し男性を少し増やせというような意見が出てくるぐらいになるといいのかなと思います。

この男女共同参画のレベルを測る国際的な指数の一つに、GEMというのがございます。これはジェンダー エンパワーメント メジャーといいまして、女性が政治及び経済活動に参加し、意思決定に参加できるかどうかを測るもの。国会議員の中におきます女性の比率でありますとか、管理職の中で女性が占める比率、あるいは男女の推定勤労所得等のデータを用いて算出するものでございまして、調査対象80カ国の中で、日本が43番目、真ん中よりちょっと下という状況でございます。数字を見てみますと、ノルウェー、デンマーク、スウェーデン、フィンランドといった北欧諸国が大体90点前後なんですけれども、日本が53点ですから、実力的に言うと、北欧先進諸国の男女共同参画度に比べれば、その6割程度にしかかかっていないというのが数字の上ではっきり出ているわけでございまして、そういう意味ではまだまだ努力をしなければいけない大きな分野かなと思っております。

幸い、愛媛県の場合には、審議会等委員におきます女性の登用率、今年の4月1日現在で36.3%に達しております。振り返ってみますと、この問題に取り組みました6年前の時点が18.1%でしたから、6年間の間に女性登用率が、少なくとも審議会、委員会に関しては倍増したということは言えるわけでございますけれども、まだ、次なる目標は40%を超えるということでございますので、県としての努力もさらに重ねていかなきゃいけないと思っております。

今年の3月にこの男女共同参画計画の中間改定を行わせていただきました。今後とも積極的に男女共同参画を進めていかなきゃならないと思っておりますけれども、江戸時代の貝原益軒という方が養生訓の中で、「志を立つことは、大にして高くすべし」と言っております。何でも持つ志、目標は大きくて高いほうがいいということでございますから、この会議におかれましても、大きな目標を立てていただきまして、その大きな目標に向かって、それに県民があらゆる分野で努力をしていくということの発破かけを皆さん方をお願いしたいと思っておりますので、どうか田中会長を先頭に、女性パワーをあらゆる場で発揮できるように期待をさせていただいております。

今日の会議へのご出席、本当にありがとうございました。よろしく願いいたします。